

新村地区



新村地区の人家多くは、大仏山公園として整備がされている玉城丘陵と宮川により形成された氾濫平野の間に位置しています。玉城丘陵は、浸食が進み比較的緩やかな形状をしていますが、地盤を形成する領家花こう岩は、深層まで風化が進んでおり、崩壊など土砂災害を起こしやすい地質です。また、南側の水田地域は、氾濫平野であり、豪雨時には、浸水を引き起こしやすい低地となっています。また、これらの低地は、大規模地震時などには、液状化現象を引き起こしやすいことが知られています。

近年、土砂災害の発生履歴はないもののいつ災害が発生してもおかしくない地域です。

災害発生の可能性が高まった時 どのタイミングで だれと どのように どこへ 避難するのか

- 次の各ステップに従って、必要な情報をこのマップ(P.5 ~ P.12)に実際に書き込んで、あなたの家族だけの防災マップを完成させてください。
- **マップに赤いペンなどで避難経路、危険な箇所を直接追記してください。**
- 津波、土砂災害、洪水、地震時では、安全な避難場所や避難経路が異なる場合がありますので、災害の形態に合わせてそれぞれ選択しましょう。

※津波、洪水については「伊勢市防災マップ」で確認しましょう。

第1段階

このマップからあなたの家を見つけ、周辺の危険箇所などの状況を確認しましょう。

- あなたの家は？
- あなたの家の周辺には、危険な箇所がありますか？



第2段階

あなたの避難所と避難経路を確認しましょう。

- あなたの家から避難所までの所要時間はどれくらいですか？
- 避難所までの間にある土砂災害危険箇所を確認しましょう。
- 指定避難所以外の避難場所、避難経路の候補はありますか？



第3段階

あなたが地図上で選択した避難経路を安全に避難できるか確認しましょう。

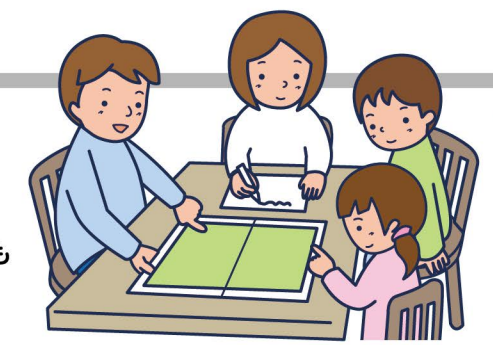
- 避難経路に沿って、災害の起きそうながけはありますか？
- 避難経路上で浸水するような場所がありますか？
- 避難経路の近くにマンホール、道路の側溝、深く窪んだ場所などがありますか？
- 避難経路に沿って、夜間でも避難できるような街灯などはありますか？
- 避難経路沿いで避難の呼びかけなどをしていく住宅等はありませんか？



より現状にあったマップとするためにP5~P12のマップを自分で更新しましょう。

避難カード

下の表に土砂災害への対応を記入してみましょう。また地震・洪水等への対応も記入してみましょう。



住所

避難が必要となる災害と避難方法等

災 害	避難行動(避難先)	注視する情報	危険な状況
土砂災害			
地 震			
例) 土砂災害	○○○○○	土砂災害警戒情報	道路への落石

避難の時期を逃した場合は、斜面からなるべく離れた部屋や二階に避難する等の対応をしましょう。

避難所

安全度ランク	安全 度
▲	一部に安全性を満たしていない避難所
★★★	土砂災害や浸水が発生した場合等でも十分に安全な避難所

※伊勢市 避難所指定基準(平成27年度)より

指定避難所(明野小学校等)

職員を派遣し、市が開設する避難所。原則として学校・体育館等の大規模人員を収容できる施設。

津波緊急避難場所(市営大仏山公園等)

津波から一時的に避難する施設(場所)であり、避難生活をする場所ではない。

自主避難所(小俣保健センター等)

台風接近時など、避難勧告等を発令する前に自主避難できるよう開設する避難所です。

自治会避難所(東新村公民館、西新村公民館等)

自治会が自主的に開設する避難所です。

※伊勢市では、順次避難所の見直しを実施しています。